

アドベンチャーラリー十(プラス)



～トリプルチャレンジ～



国立淡路青少年交流の家



TPシャトル



ジャイアントシーソー



ネットクロッシング

アドベンチャーラリー+ (プラス) ～トリプルチャレンジ～

■ 概要

グループで協力して課題を解決する活動を通して、協力することを楽しみ、仲間との信頼関係を高めます。トリプルチャレンジでは新たに設置された3つの器具(裏面参照)を使用して、従来のアドベンチャーラリーよりも難易度の高い課題を仲間と共にチャレンジしていく過程で、コミュニケーションの活性化や信頼関係の構築が図れ、チームワークの強化や論理的思考力の育成が、期待されます。

■ ねらい

- グループで様々な課題に試行錯誤し、諦めずに挑戦する。
- 協力し合い、互いの良さを認め合う。
- 体験から得られる気づきや学びを言語化し、共有する。
- 課題に対するグループの取り組み、個人の取り組み姿勢をみる。
- 安全面に留意してサポートする。

参加者

指導者

■ 指導者、人数、費用など

アドベンチャーラリー+～トリプルチャレンジ～	
対象	中学生以上
指導形態	職員が活動の説明・進行・ふりかえり等を指導します。 ※活動によっては団体指導者のサポートをお願いします。
人数	2組まで (1組6名～15名)
費用	15,000円/1組
実施時間	2.5時間
場所	屋外 (友情の広場) <small>※荒天時は室内でのアドベンチャーラリーに変更になります</small>
時期	1年中

〈荒天時〉

アドベンチャーラリー	
対象	小学校5年生以上
指導形態	職員が活動の説明・進行・ふりかえり等を指導します。 ※活動によっては団体指導者のサポートをお願いします。
人数	6～40人 ※41人以上で実施する場合はご相談ください。
1グループ人数	6～10人
費用	7,500円/1回
実施時間	2.5時間
場所	屋外 お祭り広場・友情の広場 ※荒天時は室内
時期	1年中

■ 服装

- ・運動ができる服装
(長袖、長ズボンが望ましい)
- ・運動靴

■ 事前

- ・より効果的の指導のために2週間前までに事前調査票を提出する。
- ・団体指導者は、活動実施30分前に、職員による事前打合せを受ける。
- ・団体内でグループ分け・支援体制を決めておく。

■ 準備物

準備物	必要数
○水筒	各自
○帽子	各自
○タオル	各自

■ 展開

	活動	職員の動き	研修生の動き	団体指導者の動き
打合せ (20分)	職員と団体指導者との打合せ	活動の内容や留意事項について団体指導者と確認する		活動の内容や留意事項について職員と確認する
導入 (15分)	全体概略の説明	・全体概略を説明する	・全体概略を理解する	・研修生の支援を行う
	安全指導(全般)	・本日举行種目に応じた安全指導を行う	・安全上の注意点を理解する	・研修生の支援を行う
	移動	・各種目を行う場所へ移動	・グループに分かれて、それぞれの活動場所へ移動する	・全体を巡回する
活動中 (100分)※3種目	チャレンジ①②③ ※事前調査票をもとに職員が直接指導を行います。	・種目指導者は課題ルールを説明する ・活動中はグループ内の様子を観察する ・指導者は全体の進み具合を集約し時間調整等行う	・1種目につき1グループを基本として、それぞれのグループごとに各種目を行う	・全体を巡回する ・適宜、研修生の安全管理を行う
まとめ (15分)	ふりかえり	・グループ内で研修生の感想交流のサポートをする ・全体でのふりかえりを行う	・グループ内でお互いの感想を交流するとともに全体でも共有する。	・グループ内での研修生の感想交流を支援する

■ 留意点

安全上の留意点

- ・ 長袖、長ズボン着用が望ましい。

指導上の留意点

- ・ 知識を直接教えない
- ・ この活動は、グループで課題を解決することを目的としています。活動の開始から終了までの間は、グループ内に様々な状況が生まれてきます。その状況にどう関わったのか、その状況にどう対応したのかが参加者たちに求められており、ふりかえりの重要なポイントとなります。サポートに入る方々はそのことを十分に踏まえ、活動中にグループをうまく機能させるための助言や安全面以外での過度なグループへのかかわり、指示や介入といったものは避けたほうがより効果的です。

■ 雨天時の対応

- ・ 状況により中止となる場合があります。
- ・ 荒天時は屋内でアドベンチャーラリーを行います。

トリプルチャレンジ

※事前調査票をもとに職員が直接指導を行います。

① TPシャッフル



土台となる丸太を使って、地面から十数センチの高さで行う。丸太から降りずに位置を交代する。
チャレンジの度合いにより様々なルールが設定できる。
例:グループを2つに分けて、各チームが丸太の両端からスタートし、交差する。

② ジャイアントシーソー



幅約1.8~2.4m長さ約3.6~4.8mの大きな角材(プラットフォーム)の上に乗る。自分たちの体重を使ってバランスを取り、プラットフォームの端が地面につかないようにする。
チャレンジの度合いにより様々なルールが設定できる。
例:グループを半分に分け、両サイドに立つ。プラットフォームが地面につかないようにしてお互いに反対側へ移動する。

③ ニトロクロッシング



吊るされたワイヤー(スイングロープ)を使って向こう岸(島)へ渡る。その際、立ち入り禁止区域に入らないように、仲間と協力して、助け合いながら越える。
渡った人は落ちないようにバランスを取りながら、全員が渡りきる。
チャレンジの度合いにより様々なルール設定ができる。